

桜 工



日本大学工科校友会

櫻 工

目 次

会 則	1
目 次	2
巻 頭 言	校友会について想う.....柴田校友会々長	3
座 談 会	欧米見てある記.....小野・倉西・他	4
学 生 生 活	八幡平におけるワンダーフォーゲル	10
	二部学生の学園生活.....水 木・広 瀬	14
現場実習体験記	17
	マイカ工場に於ける人事管理	17
	奥只見を訪ねて	19
	実習日記	20
随 筆	病氣と薬.....薬学科・大久保保夫	21
学生集合住居第6回建築国際学生会議主催・競技設計応募作品	22
投 稿	来春社会へ巣立つ後輩へ.....建築学科卒・今井正男	27
建築学会賞受賞会員亀井幸次郎・益田重華	28
総会議事録	30
会 員 消 息	支部便り（北海道・国鉄校友会便り）.....	36
	日本大学理工学部後援会総会について	39
ニ ュ ー ス	40

1 9 5 9

VOL. 4 No. 17

日本大学工科校友会誌

日本大学工科校友会

編 集 委 員

委 員 長	筒 井 助 幸
委 員 幹 事	亀 井 幸 次 郎
委 員	伊 藤 真 治
"	大 内 順
"	穴 沢 一 郎
"	宮 川 育 郎
"	木 下 茂 徳

櫻 工 第17号

昭和34年9月・日 印刷
昭和34年9月・日 発行

編集人 藤 田 実
発行人 高 木 政 司

東京都新宿区市谷加賀町一ノ十二

印刷所 大日本印刷株式会社
東京都千代田区神田駿河台一ノ八

発行所 日本大学工科校友会
電話東京(29)代表7711~9番
振替口座東京番162710番

日本学術会第5期会議員選挙

1. 本学理工学部関係候補者
日大教授 工学博士 木村秀政氏（機械工学）は全国区・第5期の候補者として日本大学より推薦された。
2. 第5期会員選挙は本年11月20日有権者の投票により行われる。

技術士試験希望者懇談会

工科校友会では事業部委員会が中心となり8月15日に受験希望校友に対し、受験指導を兼ねて懇談会を開いた。（講師は科学技術庁。振興局の係官と前年度の合格者瀬古、松本、米川、谷口、加藤、宮川の各氏）閉会後、懇親パーティを開いた。参会者80名で盛況であった。

外遊教授

木村秀政教授（機械工学科）

防衛庁次期戦闘機調査団顧問として9月16日渡米10月未帰国の予定。

福田金次郎教授（電気工学科）は8月16日—22日にわたり、ウプサラ（スウェーデン）において開催される「国際放電シンポジウム」に日本主席代表として出席される事となり、「欧米の工学教育並びに放電核融合研究の視察検討」もかねて去る7月30日羽田発、約3ヶ月の予定で外遊された。

松本太郎教授（工業化学科）

日本学術会議の推薦により、日本代表として去る8月25日羽田発、9月1日よりオーストリア国グラーツにおいて開催の「油脂研究国際常会第4回発議」に出席して研究発表を行いかねて、「欧米の工業教育視察」を行い10月3日帰国の予定。

倉西正嗣教授（機械工学科）

日本学術会議にて、日本機械学会より推薦に基づき、8月24日オランダ国デルフトにて開催の「理論応用力学国際連合」の「薄弾性殻の理論」のシンポジウムおよび9月上旬ユーゴスラヴ国ベルグラードにて開催の「国際材料試験、連合常置委員会第12回会議」に派遣されることに決定8月21日羽田より出発された。

吉沢太郎囑託教授（数学科）

米国、RIAS研究所より研究教授として昭和34年9月1日より1年間招聘を受け8月29日渡米された。

藤田純一助教授（物理学科）

フルブライトにて米国カリフォルニア州スタンフォード大学の招きにより「原子核物理学研究」のため7月1日より1年間渡米

校工表紙懸賞応募の審査

6月15日18時より校友会役員室で学校側理工学部次長斉藤教授、校友会、筒井会誌委員長、伊藤真治、大内順木下茂徳、宮川育郎の各委員参集し応募図案12点の審査をした。

1. 次の6点が佳作に選ばれた。

- (1) 安藤 剛 1部工経2年
- (2) 小野寺喜久一 建築3年
- (3) 松井宏郎 2部建築1年（2点）
- (4) 鳩川 宏 木下研究室
- (5) 清水宏一 短大2部1年

2. 一等当選と認められるものがないので、建築学科のデザイン担当の先生（宮川、小谷、小松、関沢、若木）にデザインを特別にお願いすることにきめた。会誌第17号（本号）の表紙がそれである。

学位取得

宮脇泰一君（専建2回昭8年）工学博士となり8月23日本部に於いて学位授与式が行われた。

会員各位に

創刊以来17号を送り出しました。会誌委員の諸先生方の心からの御支援により漸く年四回の発刊も軌道にのってきました。校工はあくまでも「日大工科校友会の機関紙」です。会誌委員だけの会誌ではありませんから、「会員のみなさまとともにつくる楽しい雑誌」としての真価を発揮するため、原稿や御希望をお寄せ下さい。（原稿種別など固くるしい事は考えずに何でも送って下さい）。会員消息、クラス会便り、個人消息等何れも歓迎します（写真や書きも会誌に花を添えます）綴集子。